

施策マネジメントシート（令和 4 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	1	政策名	住みたい!と思う笑顔が集まるキレイなまち
	施策 No.	4	施策名	下水処理の充実
施策主管課	下水道課		施策関係課名	環境課・都市計画課

1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)			③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)					
市民			公用水域の水質が保全され、衛生的な暮らしができる					
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因
1	下水道普及率	%	目標値	67.2	68.5	69.8	71.1	1) 未達成。目標値には届かなかったが、下水道普及率は、供用区域の拡大に伴い増加している。
			実績値	55.5				
			達成率	82.6%				
2	下水道水洗化率	%	目標値	76.0	77.4	78.8	80.2	2) 概ね達成。下水道水洗化率は、供用区域内の接続戸数増加に伴い増加している。
			実績値	72.9				
			達成率	95.9%				
3	汚水処理人口普及率	%	目標値	87.6	89.1	90.6	92.1	3) 概ね達成。汚水処理人口普及率は、供用区域の拡大及び浄化槽設置の増加に伴い、汚水処理人口（供用人口+浄化槽供用人口）が増加したが、令和4年度より浄化槽供用人口の把握において、GISシステムの構築に伴い、より実数に近いデータが把握できその値を採用したため、一時的に微減となった。
			実績値	82.4	85.9	85.8	87.0	
			達成率	94.1%				
4	汚水処理人口水洗化率	%	目標値	87.2	87.9	88.6	89.3	4) 達成。汚水処理人口水洗化率は、接続戸数増加と、GISシステム構築に伴い実数に近いデータが把握でき、汚水処理人口が減少したため増加している。
			実績値	90.7				
			達成率	104.0%				
5			目標値					
			実績値					
			達成率					

2 施策（基本事業）の振り返り

基本事業	(施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。)
下水道環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道事業、市営浄化槽事業について、地域の条件に合わせた整備を行った。 令和4年度に整備計画の再編を行い、下水道と浄化槽の計画区域再設定を実施して、早期整備に向けた取り組みを図った。
下水道の水洗化向上	<ul style="list-style-type: none"> 戸別訪問による加入促進や水洗化促進を行い、併せて未加入、未接続者リストを作成し、次年度への情報反映を行うと共に、接続されない原因の情報収集を行った。 水洗化向上に向けて、市内小学校4年生を対象とした下水道教室や、牛津産業まつりでの啓発活動を行った。
安定した下水道事業の運営及び経営	<ul style="list-style-type: none"> 下水道企業会計健全化のため、令和3年度から経営戦略・使用料の改定検討に着手し、経営状況を分析し、使用料の改定準備を行った。(令和5年5月に20%改定) 既存施設の維持管理を行う上で計画的な更新を行うために、令和4年度から下水道ストックマネジメント事業に着手した。

3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

<ul style="list-style-type: none"> 10年概成を考慮した整備区域の見直しを実施したことにより、令和8年度から9年度にかけて下水道の整備を完了させる必要があるため、特に令和7年度・令和8年度は整備量が増えることが見込まれることから、作業計画に見合った予算や人材の確保が求められる。 下水道事業の健全経営を行なうため、令和4年度に下水道使用料改定を行ったが、今後も経費回収率の不足が見込まれることから、まずは接続率の向上等を図る必要がある。 下水道施設において、処理場やマンホールポンプなど20年以上経過した施設が出てきている。現在は対処療法的に修繕対応を行っているため、適切な更新計画のもと維持管理が必要となっている。
--

4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

<ul style="list-style-type: none"> 整備完了目標年度である令和9年度までに、事業を完了させるために予算確保を行うと共に、工事担当者の人材確保と育成を行う。 下水道経営の安定化のため、定期的に経営戦略の見直しを行いながら、経営状況に合わせた適正な使用料の設定に取り組む。また、水洗化率向上のため、戸別訪問を今後大幅に増やし、経営の健全化を図る。 下水道施設の適切な維持管理を行うために、ストックマネジメント事業を策定し、早期に調査・点検・更新工事を実施していく。
--